

11:29 さて、群衆の数がふえて来ると、イエスは話し始められた。「この時代は悪い時代です。しるしを求めているが、ヨナのしるしのほかには、しるしは与えられません。

11:30 というのは、ヨナがニネベの人々のために、しるしとなったように、人の子がこの時代のために、しるしとなるからです。

11:31 南の女王が、さばきのときに、この時代の人々とともに立って、彼らを罪に定めます。なぜなら、彼女はソロモンの知恵を聞くために地の果てから来たからです。しかし、見なさい。ここにソロモンよりもまさった者がいるのです。

11:32 ニネベの人々が、さばきのときに、この時代の人々とともに立って、この人々を罪に定めます。なぜなら、ニネベの人々はヨナの説教で悔い改めたからです。しかし、見なさい。ここにヨナよりもまさった者がいるのです。

11:33 だれも、あかりをつけてから、それを穴倉や、枘の下に置く者はいません。燭台の上に置きます。はいつて来る人々に、その光が見えるためです。

11:34 からだのあかりは、あなたの目です。目が健全なら、あなたの全身も明るいが、しかし、目が悪いと、からだも暗くなります。

11:35 だから、あなたのうちの光が、暗やみにならないように、気をつけなさい。

11:36 もし、あなたの全身が明るくて何の暗い部分もないなら、その全身はちょうどあかりが輝いて、あなたを照らすときのように明るく輝きます。」

人々は、信じるための「しるし」すなわち根拠を求めますが、それは自分自身の価値判断を優先している姿です。そして多くの場合は否定するための言い訳を探しているようなものです。どんなにすばらしい「しるし」が神から与えられても、それを受け入れない言い訳はいくらでも可能です。

ヨナやソロモンにまさったキリストであるイエスがおられ、人類の罪を背負って死なただけでも驚くべきしるしであるのに、さらには3日めによみがえり死に勝利なさったのに、それを受け入れない人々がいるのですから、「この時代は悪い時代」ということになるでしょう。

しるしよりも救いの事実と真理が厳然としてあるのです。しかし「目が暗いと、からだも暗くなり」、事実も真理も見えなくなってしまう。私たちは聖霊によって目が開かれて、十字架を復活を知ることができたのですから、常に聖霊によって「目が健全」な状態でいましょう。

勝手な「しるし」を求めて、不信仰に陥ることなく、十字架と復活という最高のしるしによって解決をいただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

